

大本事件解決80周年記念講演会

2025
12/7
日

宗教の品格

～学び、治め、磨くこころの時代～

13:00 ▶ 15:00

世の人々は、宗教が人々の心を安んじ、人間性を陶冶し、弱い人々を助け、世に平和を生み出すはずのものと考える一方で、そうっていない現実には落胆している。人々の不安につけこむ宗教、独善的な人間を生み出す宗教、強いもの勝ちの世界を支える宗教が目立ちすぎである。だから、宗教不信の時代になる。

現代宗教に欠落しているものは何か。素直に自分に不足している事柄を学び、周囲に流されるこころを治め、さらなる高みを見るために精進するところではないか。そのようなこころを涵養するものが芸術であり、技芸を通して人と交わることでありと考える。大本の宗教と茶、作陶の文化を導きの糸として現代宗教を再生させる道を考えてみたい。

講師紹介

北海道大学大学院文学研究院教授
櫻井 義秀 先生

さくらい・ぎしゅう。1961年山形県生まれ。北海道大学大学院文学研究科博士課程中退。1987－1992年北星学園女子短期大学講師、1992年北海道大学文学部専任講師、2004年から北海道大学大学院文学研究院教授。専門は比較宗教社会学。大本の社会活動、とりわけ大本事件に関する研究・調査を行なっている。単著・編著は42冊。近著に、櫻井義秀2023『統一教会－性・カネ・恨（ハン）から実像に迫る』中央公論新社。櫻井義秀2023『信仰か マインドコントロールかカルト論の構図』法藏館。櫻井義秀2024『死者の結婚－追悼のフォークロア』法藏館。櫻井義秀2024『宗教と政治の戦後史－統一教会・日本会議・創価学会』朝日新聞出版社。



会場

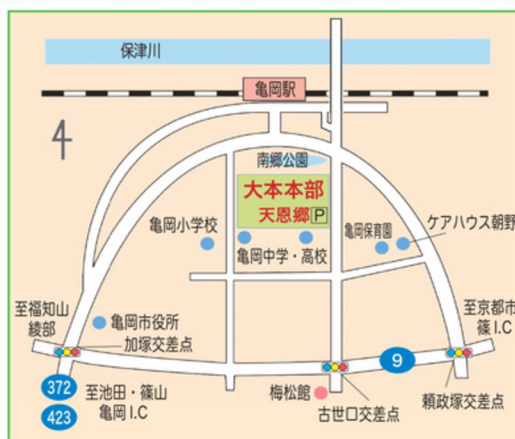
大本みろく会館3階ホール
(京都府亀岡市荒塚町内丸1)

定員

250名

参加費

無料



主催：大本本部

お問い合わせ：0771-56-9065

